

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		浅草文化観光センター運営				所管	文化産業観光部 観光課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	36	計画事業名	浅草文化観光センターの運営		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 昭和60年度			
		[小 柱] (1)観光資源の再発見と活用の推進					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ②観光案内と情報発信の充実								
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区浅草文化観光センター条例・条例施行規則					
	事業対象	直接の対象 : 観光客及び一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	台東区の観光拠点として、「探せる・見せる・支える」をコンセプトに、台東区を訪れる観光客への利便性を高めるとともに、区内の回遊性・回帰性を図る。								
事業内容 [29年度]	<p>○4か国語(日、英、中、韓)の観光案内や検索PCを無料で利用できる観光情報コーナーの設置、台東区無料公衆無線LANの全館対応など、観光客の利便性を高めるサービスを年中無休で提供している。 ・来所者数:1,158,999人(うち外国人:254,492人)</p> <p>○一般区民等の打ち合わせ場所として会議室を設置、運営している。</p>									
委託の有無	一部委託	委託内容		観光案内業務、清掃業務、警備業務 等						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	開館日数	日	365	365	365	365	365	100.0%	
		展示会開催日数	日	355	355	353	325	355	91.5%	
	成果指標	来所者数	人	1,200,000	1,185,268	1,202,784	1,158,999	1,200,000	96.6%	
		会議室利用率	%	65.0	61.2	62.4	66.2	-	-	
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				101,851	125,608	107,771		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				28,171	30,179	35,576		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				101,819	116,436	107,756		
		総経費				32	9,172	16		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				130,022	155,787	143,348			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				56,869	58,534	9,228			
	一般財源(区負担額)				0	10,514	7			
前回評価から29年度に改善した事項	平成29年2月に設置したデジタルサイネージを効果的に活用するため、コンテンツを充実させて情報発信を行い、案内機能の強化を行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	東京都が指定する広域的な観光案内所として、また、区内観光の拠点として、観光客の利便性及び区内の回遊性・回帰性を促す機能を効果的に発揮するため、区直営で運営する必要性は高い。							
	効率性	3	専門的な業務について、効率的に委託して運営している。							
	手段の適切性	3	区直営施設として、区的意思を反映しながら委託業者と連携して効果的に運営している。							
目的達成度	3	来所者数は微減となったが、外国人観光客の来所者数は年々増加している。多言語での観光案内や、デジタルサイネージを活用してわかりやすい情報発信を行う等、文化・観光情報の発信拠点として観光客の利便性及び区内の回遊性・回帰性の向上を図るという目的はおおむね達成している。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
文化・観光情報の発信拠点として、観光案内の充実に努め、観光客の利便性と区内の回遊性・回帰性向上に寄与している。今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、本区を訪れる観光客のさらなる増加が見込まれるなか、デジタルサイネージを活用し、映像を用いたわかりやすい情報発信を行うなど、引き続き案内業務の充実を図っていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		